

第51回 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会北海道大会

第55回 北海道言語障害児教育研究大会 千歳大会

大会通信NO.1

令和4年6月

## 空にいちばん近いまち 千歳市

第51回 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会北海道大会  
第55回 北海道言語障害児教育研究大会 千歳大会

運営委員長 渡會 朋広  
(千歳市立緑小学校長)

北海道は桜前線が訪れ、千歳市の支笏湖周辺では木々の色が濃い緑色へと変わり始め、その中にエゾヤマザクラの美しい桜色が映えるようになりました。

このたび、11年ぶりに北の玄関口である千歳市において第51回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会北海道大会並びに第55回北海道言語障害児教育研究大会千歳大会を開催できますことに御礼を申し上げます。

本研究大会は、研究主題「ことばを支える『心の育ち』を大切にした支援のあり方を考える」を掲げております。この主題は、北海道の言語障害児教育研究大会において平成27年度より追究しています。この間、北海道では胆振東部沖地震、コロナウィルス感染症のため、大会を3度中止せざるを得ない状況にありました。また、全国大会においても会同による開催を2年続けて断念しております。

そのため、千歳大会実行委員会としまして、「今年こそは！」と願っておりましたが、未だ終息が見通し切れない感染状況と大会運営の進行計画から、やむを得ず今大会をオンライン形式によるユーチューブ配信とさせていただくことにしました。

全国、全道の各地で子どもたちの心の育ちを大切に実践に取り組まれている多くの皆様が、北の大地北海道での会同を楽しみにされていたことを考えますと、運営委員会としては真に申し訳ない限りでございます。

しかしながら、少しでもこのたびの研究大会が充実したものとなり、子どもたちの豊かな育ちにつながりますよう精一杯取り組んで参りたいと考えております。

そして1日も早く会同による大会運営のできる日が訪れることを祈念いたします。

どうぞよろしく願いいたします。